

はじめに

循環ワーカー養成講座は、環境問題と循環型社会に関する基礎的な知識と新しい視点を提供する年 6 回の連続講座です。

昨年度の『気候変動とサステナビリティ』に引き続き今年度は『低炭素社会のつくり方』と題して、脱温暖化に向けての社会経済変革の方向性や具体的な取組みなどについて多彩な講師陣にご指導をいただきました。

また、環境省と中央区（東京都）のご後援、多数の企業のご協賛をいただき、6 回とも盛況のうちに開催することができました。

昨年 7 月には洞爺湖サミットもあり、まさに日本が世界的な低炭素社会づくりにおけるリーダーシップを発揮できる舞台は整っていました。しかし残念ながら、いまだにわが国は自国の温室効果ガス削減の中期目標すら決められていません。

洞爺湖サミットで意欲を示していた福田首相も、ハイリゲンドラムサミットで意欲を示した安倍首相と同様 1 年で辞任してしまいました。米国がオバマ新大統領の下、グリーンニューディールに向けて大きな舵を切る「チェンジ」を示しているのに対し、日本の政財界の旧態然ぶり、麻生政権の経済重視路線は対照的です。2012 年の京都議定書目標達成の頼みの綱は金融経済不況という皮肉な状況が現実です。

しかし、今年度の講座で明らかになったことは、世界においても、日本においても、地域においても、生活の場においても、低炭素社会に向けた技術、制度、マインドセットが着実に準備されてきているということです。あとは旧態然とした政財界が変わるのを待つだけです。われわれが何らかのかたちで選んだリーダーたちですから、それほど時間をかけずに新たな方向に歩みを進めてくれることを期待したいと思います。もちろん本講座を受講された方は、すでに低炭素社会づくりに向けたマインドセットを持って歩みを進めていることでしょう。多様な分野での循環ワーカーとしてのご活躍をお祈りしています。

この記録集の作成にあたって各講師には、不備の多い記録原稿に丁寧に手を入れていただきました。この場を借りて、改めて心から御礼申し上げます。

2009 年 4 月

特定非営利活動法人 循環型社会研究会
事務局担当理事 久米谷 弘光